

論文集編集委員会

| | | | |
|-----|-------------------------|--------|-----------------|
| 委員長 | 中村 努 (苫小牧高等工業専門学校) | 委員 | 河村 隆 (信州大学) |
| 幹事 | 峯岸 邦夫 (日本大学) | 委員 | 竜田 尚希 (富山大学) |
| 幹事 | 小島謙一 ((公財) 鉄道総合技術研究所) | 委員 | 辻 慎一朗 (前田工織(株)) |
| 委員 | 明永卓也 (三菱ケミカルインフラテック(株)) | 委員 | 平川 大貴 (中央大学) |
| 委員 | 荒木 裕行 (香川大学) | オブザーバー | 内村 太郎 (埼玉大学) |
| 委員 | 石藏 良平 (九州大学) | | |

ジオシンセティックス論文集投稿要綱

1. 投稿者：国際ジオシンセティックス学会（以下IGS という）日本支部，または関連学会*会員。ただし，連名のときは一名以上が上記の条件を満たしていることが必要である。

*：地盤工学会，繊維学会

2. 原稿提出先：IGS 日本支部論文集編集委員会（以下委員会という）。

3. 原稿提出時期：年 1 回とし，別途委員会において決定し，ジオシンセティックス技術情報等において告知する。

4. 投稿区分

投稿区分および内容は次のとおりとする。

1) 研究開発論文

ジオシンセティックスに関係する内容で，新規性，独創性がある独立した研究，または技術開発を取りまとめたもの。

2) 報告

ジオシンセティックスに関係する内容で，新技術の適用や困難な条件での施工，材料の開発，調査結果など，技術的に価値のあるもの。

いずれの区分においても，論文執筆要綱に従って原稿を作成し，投稿時に投稿区分を明示する。

5. 査読／審査のプロセス

1) 委員会は査読／審査を行って登載の可否を決定する（「4. 1) 研究開発論文」に対しては査読，「4. 2) 報告」に対しては審査を行う）。

2) 委員会は，投稿された原稿の審査結果を著者に伝え，登載可と判定された論文／報告に対して修正意見に対する回答を踏まえた原稿の提出を促す。

3) 委員会が査読／審査結果と最終原稿の内容を総合的に判断して最終的な登載の可否を決定する。

6. 投稿原稿の査読／審査

○研究開発論文

1) 査読の目的：投稿論文が，①ジオシンセティックスに関連した内容を扱っているか。②タイトルは

適切か。③宣伝に偏っていないか。④本論文集の趣旨に即しているか。⑤独創性，論理性，図表の見易さ等，本論文集に掲載される論文としてふさわしいものであるかどうかを判定する。

2) 査読：査読は，委員会の依頼する 2 名以上の査読者が行う。最終的な掲載可否の判定は，委員会において別途定められた各審査項目について査読者の判断，意見をまとめ，全項目にわたる判断を統合して行う。論文の内容によっては投稿区分の変更を掲載の条件とすることができる。

○報告

1) 審査の目的：原稿が，①ジオシンセティックスに関連した内容を扱っているか。②タイトルは適切か。③宣伝に偏っていないか。④本論文集の趣旨に即しているかを確認する。

2) 審査：審査は，委員会の依頼する 1 名以上の審査者が行う。最終的な掲載可否の判定は，委員会が行う。

7. 研究開発論文および報告の知的財産権

1) 論文集に掲載された個々の著作物の著作権は著作者に属する。ただし，当該著作者は，国際ジオシンセティックス学会日本支部に対し，あらゆる利用行為を許諾する。ただし，当該著作者が自らこれを利用することは妨げない。

2) 前項の許諾は，投稿が受理された時点で行われたものとするし，不採用とされた場合は，その決定の時点で撤回されたものとする。

3) 投稿された研究開発論文・報告中における既存の著作物の利用（引用・転載等）に関し権利者との間に生じた紛争については，著作者（投稿者）がその任に当たる。

平成 24（2012）年 3 月 26 日制定

令和 3（2021）年 1 月 19 日一部修正

令和 4（2022）年 3 月 31 日修正